

教育目標	
心豊かに主体的に生きる幼児の育成	
年度末の最終評価	
自己評価	<p>教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援児が多く在籍し、昨年度より更に一人一人に徹底的に添う教師のかかわりのもと、安定した信頼関係を築くことができた。 ・後期は子ども一子ども感染の拡がり、更に活動が制限されたが、幼児の実態に応じて活動を工夫して取り組み、それぞれの学年で、興味関心、活動への意欲を高めることができた。 ・保育の『振り返り』に着目し、幼児自身と教師自身の両面から、保育の具体的な見直しを通して、その都度の課題を明確にすることができた。次年度も継続したいと考える。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも恒例の『花の苗やさん』、児童館、地域との共催の『ハロウィン』行事ができてよかった。数少なかったが、実施できた行事の様子から、今年も教職員の熱意や意気込み、チームワークの良さを感じた。 ・月だよりやHPの写真から、教育の意図が伝わる。今後も、地域として、子ども達の豊かな経験につながる行事を模索して、園への協力もしていきたい。 ・保護者の多様な価値観、園児獲得と様々な課題に向けて、果敢に取り組んでほしい。

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和3年（11月）	学校運営協議会理事
最終評価	令和4年（3月）	学校運営協議会理事

（１）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『振り返り』に重点を置き、具体的に振り返る。▶『振り返り』用シートを製作 視点：子どもの「やりたい」思いが実現できたか。 ：教師の援助や環境構成はどうだったか。 ・教師側の課題を明確にする。 ・遊びの充実につなげていく。 ・写真やポートフォリオ等を活用。園内研修で学んだことや子どもの育ちを、園だより、HPに活かす。
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『振り返り』用シートで、遊びの振り返り、次の日の遊びにどう繋がっていくか、どのような手立てが考えられるか、教師側も援助等を具体的に振り返る。 ・写真やビデオなどを積極的に活用し、視覚的に環境や子どもの姿を共有できるようにする。 ・エピソード研修を継続的に行い、幼児一人一人の変容を探り、そのための教師の援助や環境構成の

在り方を見直す。

- ・保護者アンケート項目の回答

中間評価

各種指標結果

- ・各学年の研究保育と協議，エピソード研修をそれぞれ3回ずつ行い，幼児の『やりたい』思いが，教師の援助や，設定した環境，教材で，どの程度実現できたか，今年度作成した『振り返り』シートに記述し，幼児の姿から探ると共に，教師側のかかわり方についても，具体的に『振り返り』をして，見直し，次（個々，クラス）への保育の展開について研修した。
- ・アンケート結果
「教育目標『心豊かにたくましく生きる子どもの育成』に向けての保育を行っているか」
大変そう思う…88% そう思う…12%
「安全で豊かな経験ができるように整えられているか」
大変そう思う…69% そう思う…29% あまりそう思わない…2% であった。

自己評価

分析（成果と課題）

- ・『振り返り』用シートを活用したことで，遊びの振り返り，次の日の遊びにどう繋がっていくか，次，具体的にどのような手立てが必要か等を，子ども側，教師側の両面から，考えることができた。
- ・『振り返り』用シートの記述の仕方について，視点をどこにあててるのか等，より有効に活用するため，適宜見直し改善していく余地がある。
- ・保育の中でITCを積極的に活用し，視覚的に示し，子どもたちに，より明確に方向性を示すことができ，活動がより充実した。
- ・保護者アンケートより，幼児の『やりたい』思いの実現にむけて，各クラスの実態に合わせた支援を工夫し，保育を行うことができたことは，良い評価を得ている。
- ・『園だより』の子どもの姿を，写真を多くしたカラー刷りで，担任教師の簡潔な文章で，活動の意義や，ねらい，願を伝えることを，今年度も継続している。

分析を踏まえた取組の改善

- ・『振り返り』用シートのより有効な活用方法について，視点をどこに置くのか等，その時々での記述方法をより練っていく。
- ・『園だより』だけでなく，保育の意図や，学びや育ちにつながっていることを，担任が具体的に，保護者への伝達ができているかを検証し，簡潔に的確に伝える力量を高めていく。
- ・京都市立幼稚園の保育内容が，どれほど，幼児期の育ちに必要な取組がなされているかを，今一度，教職員間で共通理解を図り，発信していく。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・エピソード研修の回数とその成果
- ・アンケートお子さんは幼稚園生活を通して，心身がたくましくなってきたと思いますか」と「お子さんは安心し，楽しく幼稚園に通っている」の，保護者と教職員の回答

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・引き続きコロナ禍でも，その時々でできる限りの取組もが，なされていると感じる
- ・『園だより』，HPがわかりやすく，子ども達の様子や，先生の考えがよくわかる。
- ・運動会代替行事『スポーツフェスティバル』での子ども達の姿に感動した。
教員だけ（PTAの手伝い無し）での進行，教職員の動き，活気がありよかった。

最終評価

	<p>（中間評価時に設定した）各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソード研修としては、学期に一度は実施できた。 ・アンケート結果 <p>「お子さんは幼稚園生活を通して、心身がたくましくなってきたと思いますか」</p> <p>大変そう思う… 84%→83% そう思う… 12%→15% あまりそう思わない… 1%→0</p> <p>無回答 1</p> <p>「お子さんは安心し、楽しく幼稚園に通っている」</p> <p>大変そう思う… 62%→79% そう思う… 31%→17% あまりそう思わない… 7%→2%</p> <p>無回答 1</p>
自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間調整を工夫し、もう少しエピソード研修の回数を増やしていきたい。 ・後期は、子ども一子どもも感染の拡がり、より活動の制限が増えた。保育参観を始め、保護者が園での子どもの姿を目の当たりにして実感できる機会が少なかった。保育の充実に向けては、最大限取り組めたと考えている。 ・保護者が教員の努力を、より理解できるように、より見えるように、知らせ方を模索していく。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を多く取り入れた園だよりの『子どもの様子』をエピソード研修に有効活用していく。 ・写真を撮る（記録を残す）ということは、何に視点を当てているのか明確になる。その意識がどのくらい自覚できていたかを振り返る。 ・保護者が確実に見る（読む）…ということを、より促す。 <p>より“見てわかる”ようにするため、教育的意義を明確に、簡潔に、知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITCを活用していく。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の降園時、その日の様子などを保護者に伝えているが、コロナ禍で、保護者同士での会話が減少したことも、担任から伝えられたことを共有することが減少し、十分な理解や実感に繋がらなかったのではないかと。 ・何を一番伝えたいのか、教師自身の視点や、個々の幼児の姿の捉え方等、専門的なことではなく、保護者がわかる伝え方が、より理解が得られるのではないかと。 ・明確な視点をもつ教師の力量を高めていく。

（２）幼小連携・接続に関して

	<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏見住吉小との定例会。交流等についての事前事後の話し合いの時間を確保する。 ・出前授業等、学校のスタートカリキュラムへの参画。 ・互いの保育・授業を可能な限り参観しあう。（せめて感想等を伝え合う） ・ITCを活用し、交流の幅を広げる。 ・1学期から、就学に向けての連携を図る。 ・合同研修や幼小交流において、思考力の芽生えの姿や、その姿を育む教師の意図のある援助や環境構成などについて発信し、『学びに向かう力を小学校の学びに繋ぐ機会』となるようにする。 <p>（取組結果を検証する）各種指標</p>
--	---

- ・接続期教育課程を見直す研修を行う。
- ・合同研修や幼小交流保育の実施回数や内容の充実度
- ・保護者アンケート項目の回答

中間評価

各種指標結果

- ・アンケートの結果「保幼小連携・地域との連携等では、子どもたちの育ちにつながっている」では、大変そう思う…70% そう思う…26% あまりそう思わない…2% 【無回答1】であった。

自己評価

分析（成果と課題）

- ・コロナ禍で保幼小での交流ができない状況の中、『苗やさん』では、今年度も幼稚園に招くことはできなかったが、昨年度の取組方法を活かし、伏見住吉小学校1年生との交流ができた。
- ・昨年度実施できなかった『出前授業』を予定より、回数を増やして実施することができた。事前事後の話し合いもでき、幼稚園教諭の子どもへのかかわり方、姿の見取り方を、伝えることができた。しかし、理解にはつながっていないと感じた。
- ・子ども同士の交流は無いが、幼稚園の砂場での1年生の活動が実施できた。予定にはなくても、状況に合わせて臨機応変に幼稚園の教員が対応し、実際にその動きや、言葉かけを、見てもらう機会となったが、届いていないと感じた。
- ・伏見中学校ブロックでの研修会に参加することができた。
- ・園行事としての取組が実施できないので、保護者には直接的な実感が少ない。

分析を踏まえた取組の改善

- ・昨年度に引き続き、子ども同士の対面での交流は、積極的に行える状況ではないが、手紙や動画等々でのやり取り等、方法を工夫し、小学校への教員に対して、積極的に働きかけていきたい。思いが伝わりあい、育ちにつながる互恵性のある交流方法を探り、可能なことから実現していきたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・就学前の時期、動画でのやり取り等で、連携、接続を図る。
- ・アンケート「保幼小連携・地域との連携等は、子どもの育ちにつながっている」の保護者と教職員の回答

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・コロナ禍でも、幼稚園からの積極的な働きかけと提案で、実現できてよかった。（苗やさん）
- ・幼小交流は小学生にとって、年下の学年に思いやりの気持ちをもつ機会となるので、続けてもらいたい。小学生にとって、『ほっとできる』うれしい取組だと思う。
- ・（苗やさん）児童の参加は、できなかったが、小学校の管理職、先生方が、幼稚園に出向いてもらえたことは、よかった。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果

- ・就学前の時期、動画でのやり取り等で、連携、接続を図ることができた。
- ・アンケート結果

「保幼小連携・地域との連携等は、子どもの育ちにつながっている」

大変そう思う…70%→54% そう思う…26%→35% あまりそう思わない…2%→4%

【無回答1】

自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更に交流が難しくなり、行事は中止、運動場を借りることすらできなかった等、子ども自身も実感できる機会がなかった。 ・コロナ対応に迫われ、現状を維持するのに手一杯、精一杯だった。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像のやり取り（ビデオレター的な）等、交流の方法を模索し、直接交流ではなくても、工夫していく。小中学校にも積極的に働きかけていく。 ・現状でできる限りの取組をしていることを、より周知していく。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者も、地域の方々の参観も実施できず、園の様子がよくわからないのが状態が現状である。 ・小学校とつながっているということは、とても大切なので、今後も継続してもらいたい。 ・小学校とつながっているということを、より保護者が知るべきである。

（３）預かり保育に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気の中で、年長者への憧れや年少者への思いやりの気持ちを育てる。 ・コロナ禍での場の構成、玩具の数・量への配慮を徹底する。 ・記録をもとに指導計画を見直し、子どもの実態に即した活動内容を工夫する。 ・おやつ…アレルギー対応、管理を徹底する。 ・預かり保育担当教員と担任との送迎を徹底する。
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数や利用率の推移。（動向や曜日ごとの変動等も踏まえて） ・活動や指導計画の見直し状況 ・保護者アンケート項目の回答

中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none">・ 預かり保育の参加人数は、昨年度に比べて就労での率が増加している。・ アンケート結果 「預かり保育等の子育て支援の取組があることを知っている」 大変そう思う… 93% そう思う… 7% 「お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している」 参加者のみ回答：大変そう思う… 58% そう思う… 21% そう思わない… 2% 無回答 19%	
自己評価	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none">・ 優先利用者だけでなく、4時までの利用に対しても、より気軽に参加できるようにお知らせすることで、参加数が増えた。・ 追加，変更，取消の方法が，ようやく周知できてきた。・ 数多い，要支援の子どもたちの状態により，参加幼児全員の安定感を確保していくことが課題である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数と遊戯室の広さの関係上、密になりやすい。担当教員の感染予防への意識をより高める必要がある。（密回避への声かけ、場の設定の臨機応変な変更等）
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・参加幼児が全て、安心、安定して過ごせるように、要支援児に対しての個別にかかわる人員配置（誰を配置するか等）を的確に行う。 ・追加、変更、取消等が、気軽に、また事務処理上、確実にできるように、保護者の心象を変えていく。 ・これからの季節を踏まえ、より感染予防を徹底する。
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握と、積極的なボランティアの活用 ・アンケート「お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している」の回答
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育では室内での遊びが中心なので、園庭で遊びたがる時は、園庭開放を利用している。 ・午後6時まで、預かり保育があることを、もっと発信した方がよい。小学校の壁面のポスターは、大変良く目立ち効果的だと思う。今年度数も増やしたことに対して、伏見住吉小学校がポスター掲示に関しての快諾の成果ではないか。幼稚園とのつながりも感じられてよい。

最終評価

	<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 <p>「お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している」参加者のみ回答 大変そう思う…58%→66%　そう思う…21%→10%　そう思わない…2%→0 無回答13</p>
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者はこの状況下で納得しているが、兄弟の学級閉鎖や、参加させたくてもできない状況も増え、戸惑いも多かった。 ・参加者が多くても、子どもが安定感を持って、更に感染予防対策を講じながらの実施方法の模索が課題である。
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた空間での感染予防対策の徹底と活動内容の確保の工夫。
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・今年も、コロナ禍で友達の家遊びに行くことができなかった。唯一、預かり保育に参加することで、遊ぶことができた。 ・園庭開放が始まってからは、休園中外で遊べなかった分、室内の預かり保育に参加するよりは、外で遊びたい状態も多かったのではないかと。

（４）子育ての支援に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・降園時に、学級や個々の様子を丁寧に伝達し、園としての説明責任を果たす。 また、保護者が安心できるように、個に応じた具体的な一言アドバイスを心がける。 ・未就園児教育相談の充実を図る。

<p>親も子も友達ができる場、安心して子育てについて悩みを相談できる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい資料（写真中心）の作成。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2歳児クラスの枠を設ける。 ・保育公開や自由参観などの教育発信の機会をつくり、開かれた幼稚園づくりを進める。 ・ほっこり子育てひろばや家庭教育講座で、子育てについて悩みや工夫を出し合う機会を設ける。
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート項目の回答 ・子育て支援の取組回数や参加人数，教育相談件数。未就園児保護者へのアンケートを実施する。 ・学校運営協議会で，保護者代表より意見を聞く。

中間評価

	<p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者弁当に関してのアンケート結果「業者弁当の取組はよいと思う」 大変そう思う… 79% そう思う… 19% あまりそう思わない… 2% ・アンケート結果「お子さんは安心して，楽しく幼稚園にかよっていますか」 大変そう思う… 62% そう思う… 31% あまりそう思わない… 7%
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者弁当の実施は，曜日によって保護者の軽減にもつながる（月・金）で，おおむね実施することができた。 ・昨年度よりは，申込数は増えている。 ・本園の教育相談実施曜日と，児童館の実施曜日が重なっているため，昨年度よりは登録者数が減った。コロナ禍と人員確保が難しく，2歳児クラスの枠を設けることがまだできていない。 ・イベントを伴った説明会等が十分にできなかったが，随時を受付けているので，希望の日時にできることで，園内見学の希望者は多かった。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏食に対する保護者の意識への，日々のはたらきかけ。 ・別枠の2歳児のみのクラス実施に向けて検討していきたい <p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児教育相談の登録者数と未登録での入園数。 ・担任からの日々の連絡の中で，子どもの姿から，成長したと思われる姿や事例を具体的に伝え，保護者にも，子どもの見方，捉え方を発信していく。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員間の連携がなされている。継続して行ってほしい。 ・今年度，未就園児の保育室が2階になったので，運動会の取組等，活動の様子がよく見えた。 ・未就園児の運動会も，在園児と一緒にできたり園児の演技が観れたり等，内容が充実していてよかった。

最終評価

<p>（中間評価時に設定した）各種指標結果</p> <p>アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者弁当に関しての「業者弁当の取組はよいと思う」 大変そう思う… 79%→86% そう思う… 19%→14% あまりそう思わない… 2%→0 ・「お子さんは安心して，楽しく幼稚園にかよっていますか」
--

大変そう思う… 62%→79% そう思う… 31%→19% あまりそう思わない… 7%→2%	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は年度当初から申し込む家庭が多かった。進級前に年少児の申込が増えた。保護者の負担軽減にはなっている。 ・2学期後半は、園生活も軌道にのり、より安心感をもてるようになってきた。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・偏食が多くみられるが、業者弁当で、みんなと一緒にものを食べる…という、子どもにとっての効果を、より保護者に周知していく。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・偏食がある子どもが増えている。 業者弁当で、苦手なものも食べることができた体験ができることは、保護者としてはありがたい。 ・保護者自身が、この子は〇〇が苦手…と、思いすぎていないか…また、園からのいろいろなアドバイスを必要としているのではないか。

（５）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

具体的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を徹底し、方法を工夫し可能な限り地域との行事を実施していく。 （『花の苗やさん』『ハロウィン』『地域清掃』に参加 等） ・行事や保育参観・園内展等に誘い掛け、意見・疑問等をいただき、幼稚園で大事にしていることを発信する。 ・自園の取組や教育内容をHPや幼稚園だよりで発信し、開かれた幼稚園づくりする。
（取組結果を検証する）各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート項目の回答 ・運営協議会での意見

中間評価

各種指標結果 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート項目の回答 「保幼小連携・地域との連携等は、子どもの育ちにつながっている。」 大変そう思う… 70% そう思う… 26% あまりそう思わない… 2% 無回答 2% 	
自己評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の方法を踏まえ、実施することができた。より充実できるよう、実施方法を工夫をした。 ・状況によっては、計画通りにいかないことも想定し、常に実施可能な方法を模索し、代替え案を準備している。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・何事も、諦めず実現に向けて、工夫し、できることから、取り組む。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目の回答 ・運営協議会での意見 ・地域行事についての園内研修や打ち合わせの実施

学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・今年も、感染拡大状況の中、園の前向きな取り組みの姿勢がよかった。 規模や、関わる地域の方々の制限はあったが、できることを実現しようとする園を応援したい。 ・地域行事は、今年も中止が多い。方法を変えざるをえないが、積極的に意見交換し、よりよい方法を、共に模索していきたい。
---------	--

最終評価

	<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 <p>「保幼小連携・地域との連携等は、子どもの育ちにつながっている。」</p> <p>大変そう思う… 70%→54% そう思う… 26%→35% あまりそう思わない… 2%→4% 思わない0→2% 無回答1</p>
自己評価	<div>分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</div> <ul style="list-style-type: none"> ・実施できなかったので、子ども自身も実感して保護者に伝えることもできない現状だった。 <div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法の模索
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・現状を踏まえ、少しでも実施できるようになることを願っている。 ・今年度、コロナ禍でも実施できたことは、継続していきたい。

(5) 教職員の働き方改革について

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人が勤務時間と『見える仕事』を意識し、見通しを持って取り組み、効率化を図る。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・『報・連・相』の徹底と『見える仕事』を意識し、実践する。 <p>今、個々が取組む(取組もうとしている)業務について周知し、優先順位の共通理解と、分担していける段取りを組み、効率化を図り、二度手間を避ける。</p>
(取組結果を検証する) 各種指標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務時間と働く意欲 ・打合、会議に要する時間 ・年休取得率(教頭、教員が休業期間中に年休を昨年より1日以上多く取得する。)

中間評価

	<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・『見える仕事』については、おおむね、意識化され共通理解が図られた。しかし、伝達、報告については、まだ十分とは言えない。
自己評価	<div>分析 (成果と課題)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、リモートでの研修等になったことで、教員全員がそろって、打合せができた。 ・突発的な保護者対応を余儀なくされる。 <div>分析を踏まえた取組の改善</div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達，報告を徹底し，二度手間を防ぎ，より効率化を図る。
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な保護者対応も，予定に組み込み，計画を立て，段取りしていく。
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても，全教職員が，全力で取り組んでいることが伝わる。 ・今まで通り…にはいかないことは，やはり残念ではあるが，公立幼稚園の様々な取組が，できるだけ，維持されることを願っている。

最終評価

	<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「教職員は子ども一人一人にあたためかかわりをしている」 大変そう思う… 93% → 95% そう思う… 7% → 5% ・「教職員はいきいきと働いている」 大変そう思う… 91% → 88% そう思う… 7% → 8%
自己評価	<div>分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題</div> <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な保護者対応も，想定して，予定に組み込み，段取りしてきたが，時間を要することが増え，単純に時間で区切れるものではない。 しかし，仕事の優先順位をつける意識を高めていく。 ・報告が抜けることが目立った。 <div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、『見える仕事』を実現するため，報告・連絡・相談の徹底を図る。
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より，厳しいコロナ禍においても，全教職員が精一杯取り組んでいることが伝わる。 チームワークも感じる。 ・園の取組を理解し，協力していきたい。